

第7回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> ● 決めごとに反する者は退場させるよう、司会者にもっと権限を与えるべき。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● この会は「話し合いの会」であるのなら、何故手をあげている構成員を無視して会を進めるのか、構成員が疑問に思っていることに正確に回答せず話を先に進めるのは「話し合いの会」の体をなしていない。 ● 一般の構成員には時間制限をするのに都の構成員の発言には制限しないのはおかしい！ ● 大泉 1km 区間の事業認可に関して、国道事務所の担当者は国を代表してこの会に参加しているのなら答えるべき、次回はきちんと答えられる人に来て欲しい。 ● 司会者は下ばかりむいて、構成員が手をあげているのを見ようとしぬ態度はいただけない。司会者は中立であるべきであり、都の味方をするのはやめていただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 都がいくら外環本線と外環の2が別の都市計画と言っても無理な論理です。番号が違っても計画は一体として作られたものです。 ● 都の職員はよく以前からの資料をみかえし、合理的な判断をすべきだと思いませんか。 ● 小口さんは事務局ではないはず、最後の発言は撤回すべき。小口さんがこの会を決めることではない。 ● ただき台は普通に読めば小口さんのような理解はできないはず。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者中村隆司さん、勉強不足、何度も注意を受けているのに下を向いていて、挙手している人を指さずにうやむやのまま、司会者の勝手に挙手した人とは違う人にふったり、質問になんら答えていないのに打ち切ろうとしたりとシチャカメチャカ、司会者の交代を今回も又、要求します。中村さんは司会者に向いていないとご自分でも解っていらっしゃるでしょう。中村さんのお気の毒な顔を見るのは本当にうんざりです。時間の無駄はもうやめて下さい。 ● 安西崇博さん、資料に書かれていない事から説明を始めるなんて、なんとゴウマンな態度、次回今日説明されたことを資料にして下さい。傍聴の人はチンプンカンプン、是非文章化して資料を下さい。又資料の説明から始めて下さい。 ● 次回の宿題が一杯あるのできちんと資料と話し合いで回答してください。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者は構成員の発言の邪魔をするな！司会者の中村はクビだ！構成員が発言中は相手の顔を見て理解する努力すべき。 ● 国交省・今村は4月から来たので分からないと発言。分からないなら分かる人間を出すべき。 ● 話し合いの会になっていない。都が司会者を使って強引に進行するのがハッ

	<p>キリ読み取れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大泉の1キロを先行するを明確に説明せよ。外環ノ2を作ることが決定しておらず話し合い中である。杉並、武蔵野が話し合い継続中であることをどのように考えているのか、全くばかにしたやり方は許せない！ ● 構成員に個別に電話することは圧力につながる。やめろ。 ● 話し合いの会は、皆で顔を合わせ話し合うべき。 ● 古川構成員の資料4-6-1の質問に論理的に、文書にて証明せよ。正確に答えよ。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクの件 <p>会議を円滑に進め、又議事録を正確に記録するために構成員用のマイクを増やしてください。司会者は2本のマイクを回している様子だが、構成員は14名位います。これでは進行が途絶えてしまう。これ位の設備は出来るでしょう。マイク係の女性は気がきかない、話を聞いていれば次は誰か解るでしょう。</p> ● 会場の件 <p>杉並区役所の会議室を使ったらよいでしょう。時間外のエレベーターが使用できないなら、玄関ロビーに椅子を並べれば可能です。ロビーでイベントをやりますから。</p> ● 安西氏には驚きです。横暴この上なく、これで説明が終わったとは承認できない。行政本人は笑うのか？この人に東京都の姿勢が現れているのでしょうか。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 都の会の進め方はおかしい。構成員のみ司会に従うように要求して、都は勝手にやりたいことを進行しておかしい。 ● 「話し合いの会」の主旨を行政側はもう一度よく考えて、どう続けていくか根本から考え直すべきではないか。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者は辞任すべき、司会者は時間の奴隷になった。司会者の議事進行が悪くなった。従来は優柔不断、司会する能力不足、今回はそれに加えて都サイドに立った強引な進行、K氏の発言を省略して議事録にのせる発言（議事要旨ならまだしも）。質問・回答・意見をメモを取って自分で咀嚼して交通整理、やり取りの仲介をうまく行うこと。中村氏は武蔵野市の会の司会と大きな違いがこの指摘である。中村氏は武蔵野市の会を傍聴して訓練すべきである。 ● 安西氏はこのような住民との話し合いの席に参加するべきでない。基本的資質に欠ける。誰から給料をもらっているか。誰のために仕事をしているか、話し合い場で意思表示すべき。完全に不信感を抱いた。誠実さが感じられない。 ● 次第3の説明をしないことはひどいが、少なくとも文書回答で構成員が納得されたか、司会は確認すべき。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 座席の配置は司会と「小口、安西」氏を離すこと。一回毎に隣席を「古川、斉藤」氏にするとか、順に一人ずつずらしていけば、多少は公平な進行ができるのではないか。 ● 情報公開と市（都・住）民参加と公正、公平な議事進行の基本を踏まえて司会を行うこと
9	<ul style="list-style-type: none"> ● もはやこの会は「公の会議体」として成立していない。公費と時間の壮大なムダづかいである。いったん解散し、必要なら目的、メンバー、進め方等をゼロベースで見直して再出発するよう、納税者として強く望む。 ● 傍観者のヤジにも毅然と対応してほしい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ● 中村司会はずっと下向いたまま。誰が挙手しているか見もしません。安西という人は突然 8 時前後に資料にないことを話し出しました。計画的ですか?!?!? ● 長年住んできた人々の生活に関わる重要な会議です。あらためて要請します。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 座席と役職（都及び国交省、区）、構成員の氏名と着席位置を明確にして、資料とともに配布してください。 2) 議事録に出席者名、欠席者名とその所属地区を明記してください。 ● 個人情報というのは個人の財産とか家族とか思想信仰などだと思う。全て実名にすべきです!!
11	<ul style="list-style-type: none"> ● 本線地下化の理由について、国交省今村氏の答弁は落第。地上部の住宅を潰す被害を最小限にせよという PI 会議の結論を守り、石原前知事の云うチャブ台をまたぐことはしないという当初云っていた理由を正直に答えるのがまともな役人のすることではないか! 次回文書できちんと回答して下さい。 ● 須藤氏の意見書には全く賛成。役人と司会者はこれにきちんと答えて、まともな会の運営及び行政を行え。(役人の良心があるならば) 司会者は須藤ペーパー(提案)の扱いを自分の頭で考えて会の議題としてきちんと取りあげる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者(中村さん)はきちんと構成員をみて、質疑応答を円滑に進めて下さい。 ● 住民の構成員の挙手を無視しては話し合いどころではありません。 ● 住民の構成員の質問にきちんと回答することなく強引に進行している。何が「話し合いの会」か、安西(都)さんの説明は何も聞き取れませんでした。あれは無効です。
13	<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏の災害対策や交通渋滞の緩和、また、緊急車両の通行のため外環本線や外環の2はぜひ整備してほしい。 ● 青梅街道インターチェンジは、現在ハーフ規格で計画されており、利便性向上のためフル規格に変更できる形態で建設してほしい。 ● 外環の2などを整備するには、用地の確保が必要であり、住民の方の立ち退

	<p>きが必要となりますが、行政側は住民に立ち退きを求めるだけでは、住民の反対意見により、事業が進まないため、国、都や区が主体となって、低層の集合住宅（マンション）などを設け、住民の方が自分で代替地を探さなくても移転地、住宅が確保できるようにすることを要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 質問 外環本線の青梅街道 IC は将来ハーフ規格からフル規格に変更することができるか、技術的や手続き的な面も含めて教えていただきたい。
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料 7-5「杉並区における地上部街路に関する話し合いの会」に対する意見書 2 は大変参考になるものでした。（須藤さんの）特に行政と住民との認識のギャップについては、大いに納得できるものでした。都市計画に残っているというが、そもそも計画は変更可のもの。本当の意味での「住民の声を聞く話し合いの会」が必要と思います。 ● 古川構成員の資料説明は大変わかりやすく、説得力のあるものでした。都は事実経過をしっかりと認識すべき。「先に外環 2 ありき」ではおかしい。 ● いずれにしても、外環本線も外環 2 も、緊急性のない不用のものと考えます。環境破壊でもあり、住民の生活環境破壊でもあり、更に莫大な無駄づかいとします。ここにお金をかける日本の状況ではないのは明らかです。 ● 貴重な 2 時間です。スムーズな運営を望みます。
1 5	<p>会の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小口さんは 1 構成員なのか、事務局の立場なのか、どちらかにすべきです。司会すら無視する形で勝手に「これはとりあげる」「とりあげない」を決めているが、小口さんが会の代表ではなく、決める権限はないはず。中立的な立場の人が会の仕切りをするようにしてほしいと思います（現在の司会の中村さんはあまりにも立場が偏っている）。事務局はあくまで事務を行うのであって、内容まで決めることはできないはずです。 ● 「式次第についてのアンケート」「打合せの会についての意見」「議事録修正についてのやりとり」など全て公開の場で討議あるいは確認すべき内容なのに、全く報告がなく、構成員から質問がなければ話題にもならなかった。裏で都合よく進めようとしているとしか思えません。 ● とくに式次第について 3 名が意見を書いたということですが、全く認められないのであれば、何のために意見を聞くのですか？ ● 前回問題になった議事録の匿名について、報告された 3:3:3 とは、席上の採決結果のことですね？ つまり、欠席者の意見を聞くといったが、その賛否はカウントしていないということですね？ 前回の会議の出席者の認識とは違うと思います。 ● 7 回目になるのに、構成員からの質問や提案が全く解決されずに積み残されていくままで、強いフラストレーションを感じます。都はそもそも話し合いをする気があるのですか？ 住民とよく話し合って意見を活かしていくのが会の趣旨ではないのですか？

	<p>須藤さんの提案について次回議論すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 須藤さんからの提案は、この会の問題点をとてもわかりやすくまとめているもので、これに沿って、一から会の目的、あり方を見直すべきです。小口さんのとりあげたくないという意向はわかりましたが、他の構成員の意見は聞いていません。一方的にとりあげないと決めることはできないはずです。聞き置いて終わりでは、須藤さんに大変失礼なことだと思います。 <p>東京都・安西さんについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほかに回答すべき質問事項が多々あるにもかかわらず全く関係ない説明を優先したこと、そしてそれに対する構成員の抗議にもかかわらず、完全に無視して自分の言いたいことだけを言おうとする態度など、話し合いのルールの中で合意を形成する意思が全くないことが分かりました。住民を愚弄した姿勢に強い憤りを覚えました。行政の言い分だけを一方的に押し付けてよしとする姿勢は、この会の出席者としてだけでなく、公僕として失格だと思います。別の方に交代すべきです。 <p>中島さんの質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外環の2の議論をするのに、計画図面すら示さないで行っていること自体が誤り（このことも須藤さんの指摘に関連すると思います）。小口さんは、この点、いつもはぐらかしており、中島さんの質問に答えていない。次回明確な回答をすべきです。図面が存在しないなら存在しないと答えて下さい。 <p>古川さんの質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 練馬区間 1km の事業認可についても、前々回から、「なぜ申請したのか」について納得いく説明がなされていません。都と国の矛盾についても解明されていません。これも次回スジの通った説明をすべきです。
1 6	<ul style="list-style-type: none"> ● <司会、中村氏へ>当然のことながら、司会者は中立・公平に会を仕切らなければならない。資料 7-5 の須藤氏のペーパーは話し合いの会の基本的な問題点を的確に指摘しており、また他の構成員及び傍聴者の声を代弁している。従って司会者は提起された問題点をきちんと採り上げ、議論を尽くすことに全力を注がねばならない。万一、東京都の言いなりになって、都の一方的・恣意的な問題の切り捨て、回避に加担するようであれば、司会者として完全に失格。そうならぬよう、次回の公正な取り仕切りを切望します。（司会者の再評価のためにも）
1 7	<ul style="list-style-type: none"> ● 初傍聴。会の進行が困難なのは会の目的があいまいな故ではないか。「話し合い」とは結論を出す必要もない会合、住民側の「ガス抜き」ではないか？無駄な経費では？

	<ul style="list-style-type: none"> ● 本線出入口（ハーフインター）付近 1km を整備するのは当たり前の必要性があり、ここに限定して進めて本線を実現せよ。その他の「外環の2」は人口減、若者の自動車離れ、生活道路の安全を考えると廃棄が当然。杉並側は現存道路、例えば〔桃四小～地蔵坂〕等を拡幅、延長して、改良すれば済む。東八まで抜けやすいように現存道路の拡幅、一方通行の見直し等で実現すれば十分だ。国、都民税、区民税を無駄に使わず、行政の統一案を先ず公表してから（我々にも届くよう）質疑意見を求め「公聴会（?）」とすべきではないか。
18	<ul style="list-style-type: none"> ● 司会者の仕切りの悪さを棚に上げ、一方的に都側の次第を強引に進めるやり方は住民との話し合いを拒否するものであり、信頼のもとに行われるべき「話し合い」の姿ではない。 ● 次第は、毎回冒頭で話し合いの上進めること ● 大きな流れとしては住民側の質問に十分答えることが優先である。第7回の回答部分は全く聞き取れず。再度やり直しが必要。 ● 住民側資料（提出済）の説明を、それについての議論を経たのちに都の資料説明に入ること。 ● 様々な問題は会の席で議論して決めるべきではないか。小口氏の意向だけで物事を進めるのは、話し合いの会には不適切である。